

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
自由が丘地区

平成24年3月

東京都目黒区

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	自由が丘駅周辺の放置自転車数	台/日	1,700	600	137	確定 見込み		あり なし	108	H23年 6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	公共自転車駐車が完成したこと、放置自転車防止啓発活動等により、放置自転車台数が大幅に減少した。
指標2	地区計画・建築協定の締結数	地区	2	4	4	確定 見込み		あり なし	4	H23年 4月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	まちづくりのルール作成、組織の立ち上げ及び組織運営等のまちづくり活動への支援を行うことにより目標値を達成することができた。
指標3	歩行環境の向上(歩きにくいと感じる割合の低下)	%	67	30	35	確定 見込み		あり なし	37	H23年 9月	アンケート調査のため評価値と確定値に僅かな差が生じた。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標の水準には達しなかったが、女神ストリートの歩道拡幅や駅前広場の整備により従前値よりは向上している。引き続き、歩行環境の整備を実施するほか、今後も調査を実施し評価の確認を行う。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	女神ストリート歩道部の歩行者通行量	人/日	3,886	/	4,665	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	女神ストリートの歩道拡幅整備により歩行者通行量を増加することができた。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅周辺の放置自転車対策	・放置自転車の撤去、啓発活動 ・駐輪スペースの確保(民間)	・自由が丘駅周辺の放置自転車が減少し、歩行者が安全で快適に歩行できる空間が確保された。	・今後も放置自転車を抑制するため、放置自転車の撤去や啓発活動に取り組む。
	安全で快適な歩行環境の整備	・自動車進入禁止時間の延長 ・駅前広場活用ルール作成支援	・駅周辺への自動車進入規制の時間を延長したことで、歩行者が安全で快適に歩行できる時間が増えた。 ・駅前広場の歩行空間から看板やのぼり旗等を規制したことで、歩行者が安全で快適に歩行できる環境が形成された。	・目黒区交通バリアフリー推進基本構想に基づくバリアフリー整備を進める。
	商店街の活性化の持続	・商店街のイベントへの支援 ・駅前広場の広場スペースを活用したイベントの開催支援	・各種イベントに多くの来街者があり、商店街の活性化に寄与したと考えられる。	・商店街の活性化への取り組みは、地元商店街やまちづくり会社等が主体となり推進し、行政は側面支援を行う。
	快適な住環境の保全	・「街並み形成指針」に基づいた建築行為等への事前相談および計画の指導	・「街並み形成指針」に沿った、自由が丘らしい良好な住環境が守られている。	・「街並み形成指針」の運営管理を行い、快適な住環境の維持継承を図る。指針の運営管理は、地元組織等が主体となり、行政は側面支援を行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	放置自転車対策の強化	・関係機関と連携した放置自転車クリーンキャンペーンの実施	・関係機関が相互に協力し、放置自転車等の抑制と自転車等の節度を持った利用を広く区民にPRすることができた。	・今後も地元商店街や警察等と協力し、放置自転車取締の強化に努める。 ・駐輪場の確保を図る。
	他路線における快適な歩行環境の整備	・ヒロストリートにおける路側帯のカラー舗装	・歩道のない道路の路側帯をカラー舗装化することで、歩行空間の視認性が向上し、歩行者が安全で快適に歩行できる環境が形成された。	・道路幅員が狭隘で歩道が確保できない路線については、路側帯のカラー化等により快適に移動できる歩行環境の整備拡大を図っていく。
	商店街の活性化	・サンセットアレイにおける道路のカラー舗装整備の支援	・個性的で魅力的な歩行空間整備を図ることにより、歩行者の回遊性が向上され、商店街の活性化に寄与した。	・道路のカラー舗装や案内板等の整備により来街者の回遊性の向上を図り、その波及効果により地元商店街の活性化へとつなげていく。
	街並みルールの見直し	・自由が丘南口地区地区計画策定の支援	・地元組織へ専門コンサルを派遣したことにより、地区計画の街並み誘導型地区計画への改定及びそれに伴うまちづくり協定の改定への準備が整った。	・自由が丘南口地区街づくり協議会を中心に、南口地区地区計画の街並み誘導型地区計画及びそれに伴う同地区まちづくり協定の策定へ向けて検討を進める。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画（第6回変更）

じゅう おかちく  
自由が丘地区

とうきょうと めぐろく  
東京都 目黒区

平成22年12月



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>安全で快適な歩行空間を整備する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車駐車場の整備</li>   <li>・歩行空間の視認性向上</li>   <li>・交通処理計画の策定</li>   <li>・目黒区交通バリアフリー推進基本構想における特定経路の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場の整備(地域生活基盤施設)</li>   <li>・路側帯のカラー舗装(高質空間形成施設)</li>   <li>・歩行環境ゾーンの交通システム策定支援(まちづくり活動推進事業)</li>   <li>・駅広の歩道整備(道路)</li> <li>・女神ストリートの整備(道路・高質空間形成施設)</li> <li>・駅前広場整備計画検討調査(事業活用調査)</li> </ul>
<p><b>住宅と商店のバランスのとれた自由が丘らしいおのの街並み形成をすすめる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報板等の整備</li>   <li>・ストリートの個性創出</li>   <li>・街並み形成の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリート案内板整備(高質空間形成施設)</li>   <li>・マリクレールストリート、サンセットアレイ等整備(高質空間形成施設)</li> <li>・マリクレールストリートの基層整備(道路)</li>   <li>・街並み形成指針策定支援(まちづくり活動推進事業)</li> <li>・まちづくり協定策定支援(まちづくり活動推進事業)</li> <li>・補助127号線駅前地区まちづくり活動支援(まちづくり活動推進事業)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TMOによるまちづくりへの取組み            ㈱ジェイ・スピリットは平成14年7月に設立され、平成15年3月目黒区からTMOとして認定されたまちづくり会社であり、「自由が丘らしさの継承と人にやさしいまちづくり」をまちづくりコンセプトに活動している。同社はまちづくり事業の一環として平成15年度、国土交通省の「くらしのみちゾーン・トランジットモール」地区に申請し登録され、平成16年度「トランジットモールと楽しく、安全に歩ける歩行空間創出実験」をテーマとして社会実験を実施した。平成17年度も引き続き「共同集配システムを用いた路上荷捌き車削減実験」をテーマに社会実験の申請を行い、同省より採択され実験実施に向け取り組んでいる。これらの実験結果は、今回の都市再生整備計画の「女神ストリート整備事業」に取り入れられているだけでなくソフト事業である「まちづくり活動推進事業」に反映されていくものである。</li>   <li>・鉄道事業者による駅舎改良工事            鉄道事業者である東急電鉄㈱は「交通バリアフリー法」に基づき平成17年度から自由が丘駅のエレベータ、エスカレータの設置工事、併せて耐震補強工事や駅舎の改良工事に取り組んでいる。駅舎のバリアフリー化は、平成16年3月に策定された「目黒区交通バリアフリー推進基本構想」の特定事業として計画されており、他の工事も歩行環境改善に寄与するものであることから、駅周辺のバリアフリーネットワーク化を進める事業の一環として都市再生整備計画の関連事業に位置付けている。</li>   <li>・隣接区による自転車駐車場等の整備            自由が丘駅周辺は目黒区と世田谷区の区境であり、これまで両区で協議、調整を行いながら自由が丘地区のまちづくり事業を展開している。その中で放置自転車対策は両区にとって喫緊の課題となっており、鉄道事業者である東急電鉄㈱と協議を進め、同社の用地を活用して自転車駐車場整備の運びとなった。世田谷区は平成18年度に自転車駐車場(約500台)を整備する予定になっており、自由が丘駅周辺地区の放置自転車台数の削減に寄与することから都市再生整備計画の目標達成に貢献する事業として考えられる。</li> </ul>	

